

教授

池口 功晃

■ 学歴

1995 年 慶応義塾大学商学部商学科卒業

2013 年 久留米大学大学院比較文化研究科後期博士課程単位取得満期退学

■ 学位

2019 年 博士（経済学）

■ 研究分野

1. 観光経済学
2. 地域活性化・マーケティングリサーチ

■ 研究キーワード

1. 産業連関分析・マーケティングリサーチ
2. 観光政策・商圈分析
3. まちづくり

■ 研究課題

観光を通じた地域経済活性化に関する研究は、観光地の「魅力」がその核心であると捉えたものが多く、観光資源の魅力をいかに高めるかということに焦点が当てられてきた。しかし、近年の急速な高速交通網の発達に伴い、観光地の「魅力」は否応なく相対化されつつある。この認識のもと、①観光行動を消費者行動と捉えた消費行動分析、②観光地間の競合関係の分析、③産業連関表を通じた観光の経済分析など、主として3つのテーマを設定し、観光による地域経済の計量的分析および評価をおこなっている。

■ 担当授業科目

1. 日本経済入門（前期）（観光文化学科） 選択
2. 国際経済入門（前期）（観光文化学科・英語学科） 選択
3. 旅行業法（前期）（観光文化学科） 選択
4. 国内旅行実務（前期）（観光文化学科） 選択
5. 専門演習Ⅰ・Ⅱ（前期・後期）（観光文化学科） 必修
6. 卒業研究（通年） 必修
7. 地域観光資源開発論（後期）（観光文化学科） 選択
8. 地域活性化演習（後期）（観光文化学科） 必修
9. マーケティングリサーチ（後期）（観光文化学科） 選択
10. ビジネスファイナンス（後期）（観光文化学科） 選択

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【マーケティングリサーチ（地域活性化研究）】 データ解析を通じた地域活性化について解説している。具体的にはデータの構造、データ間の関連性を探りながら、相関、単回帰分析、多変量解析などを通じてデータ解析を行い、地域活性化の客観的・具体的方法について実践的な授業をおこなっている。
2.	授業科目名【地域観光資源開発論】 九州各県および山口県における地方自治体の観光の取り組みについて、学生がグループに分かれて実地・文献調査をおこない、観光振興上の課題の発見と新しい観光のあり方について議論・考察する機会を設けている。
3.	授業科目名【地域活性化演習】 地域活性化の重要な担い手の一つである企業に着目し、企業と学生の共同作業を通じて一定の成果を生み出すことを目的としている。具体的には、企業等の選定と課題の発見～共同作業の提案～成果発表に至る過程でアクティブラーニングを実施している。
4.	授業科目名【日本経済入門】 経済学系の科目は金利、株価、貿易、財政、税などマクロ経済学の基礎的理解が必須である。そこで、1回～7回までの授業ではマクロ経済学の基礎について図や計算による演習をおこない知識の定着を図っている。また、8回以降では戦後の日本経済（GHQの占領下～高度経済成長期～石油ショック～バブル経済の発生と崩壊～不良債権問題）について説明している。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2008年4月～現在に至る	日本観光研究学会	
2.	2008年4月～現在に至る	日本地理学会	
3.	2012年4月～現在に至る	観光学術学会	設立発起人
4.	2018年4月～現在に至る	日本企業経営学会	常任理事
5.	2021年4月～現在に至る	東アジア企業経営学会	

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
（学術論文）					
（学会発表）					

1.	2025 年 3 月	「老舗料亭の伝統と経営革新―日本料理・筑紫亭を事例に一」	単独発表	九州・沖縄フードツーリズム学会 第 1 回研究会(於 中村学園大学)	大分県中津市は江戸時代以降、鰻料理が地域の食文化として受け継がれてきた。現在も鰻料理を当地で提供する店は十数軒にも及んでいる。本発表においては、当地における鰻料理の歴史を踏まえ、明治 34 年に創業し、120 年の歴史を有する料亭「日本料理 筑紫亭」を事例に、その伝統の技と経営革新について分析考察した。
2.	2024 年 12 月	「宿場町の観光振興に関する一考察―長崎街道・筑前六宿を事例として―」	単独発表	東アジア企業経営学会 第 4 回全国大会（於 周南公立大学）	江戸時代、宿場町はおよそ 2 里から 4 里おきに配置され、参勤交代の大名行列や寺社参詣の旅人の往来のほか、さまざまな物資の輸送路として利用されてきた。本発表は、宿場町の観光振興のあり方を考察するために、長崎街道、とりわけその筑前六宿について、これらの歴史・概要のほか、商業店舗や祭り・イベントなどの現況を分析・考察した。

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	平成 25 年 9 月～現在に至る	「輝こう！あまがせ・支援大使」 (大分県日田市天瀬町「天瀬公民館まちづくり事業」)	観光振興に関する助言・指導
2.	平成 27 年 7 月～現在に至る	宇佐市まち・ひと・しごと創生 有識者会議 審議委員	副委員長
3.	平成 28 年 8 月～現在に至る	津久見市まちづくり推進事業審 査委員	副委員長
4.	平成 30 年 9 月～現在に至る	日田市天瀬農業公園検討委員会	会長

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2019 年 4 月～2020 年 3 月	学生委員会	
2.	2020 年 4 月～2021 年 3 月	教務委員会	副委員長
3.	2021 年 4 月～現在に至る	教務委員会	